

【令和7年度のおもな留意事項】

1. 教室規模に応じた上限額の設定

教室の参加人数(子供)の規模に応じて必要な経費を支給するため、要望上限額を下記のとおり設定しています。(詳細は、9ページ参照)

参加人数(子供)	要望上限額
10～19人の教室:	30万円
20～29人の教室:	35万円
30～39人の教室:	40万円
40～49人の教室:	45万円
50人以上の教室:	50万円

必ず上限額内で要望額を記載してください。

※当事業は、参加人数(子供)が10人以上の規模で行うことを条件としています。

参加人数(子供)が10人を下回る場合は、委託経費を0円といたします。

※申請書に記載された参加人数(子供)に応じ、委託経費を減額いたします。

※実績報告書に記載された参加人数(子供)が10人未満となる場合、委託経費を0円といたします。

※実績報告書に記載された参加人数(子供)が申請時(第2次審査時)より下回った場合、参加人数(子供)に応じ、委託経費を減額いたします。

2. 応募書類の記載について

提案書(様式1、様式ア)、誓約書、団体規約、役員名簿に記載の団体名、団体所在地、代表者職名、代表者氏名が完全一致しない場合は1次審査で「合格」しません。必ず一致させて提出してください。

3. 第1次審査に合格後の事務手続きについて

第1次審査に合格された応募団体が事業を実施する場合は、文化庁が委託した伝統文化親子教室事業の事務局を担当する業者との間で、委託契約を締結し、契約書を取り交わす必要があります。あわせて、予定委託経費額に基づき、事業内容及び経費の内訳等を記載した申請書(以下、「申請書」という。)を提出する必要があります。申請書を提出せずに事業を実施することは出来ません。

申請書作成における提出期限の遅延は、いかなる場合も認めません。
第2次審査で不合格とします。

【令和7年度のおもな変更点】

1. 諸謝金の上限額設定について

「内部指導者謝金」「協力者謝金」の上限金額を前年度より引き上げました。(詳細は11ページ参照)
前年度:1,210円 令和7年度:1,300円